

# VI 玉川クリニック

## 1 概要

所在地 〒158-0094  
東京都世田谷区玉川3-15-17  
玉川高島屋S.C西館  
TEL.03-3709-3281

開設年 昭和44年  
所長 小澤志朗  
標榜科目 内科、眼科、皮膚科、東洋医学、  
人間ドック・各種健康診断

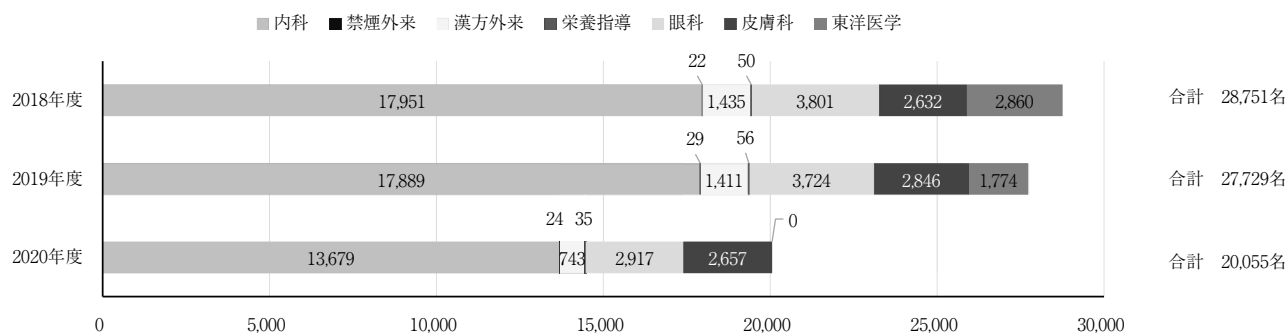
### ●各種認定医制度に基づく認定項目

2021年3月常勤医

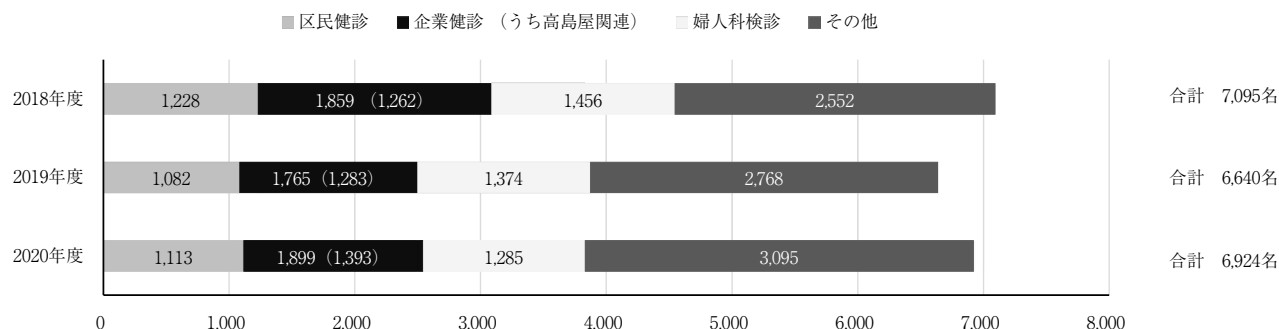
氏名	認定機関	認定資格
小澤志朗	日本内科学会	総合内科専門医／指導医
	日本呼吸器学会	専門医／指導医
	日本呼吸器内視鏡学会	気管支鏡専門医／気管支鏡指導医
	日本医師会	認定産業医
	身体障害者福祉法指定医	呼吸器機能障害の診断
嶋山文子	日本内科学会	認定内科医
	日本消化器病学会	専門医
	日本消化器内視鏡学会	専門医
	日本消化管学会	胃腸科専門医／指導医
	日本大腸肛門病学会	専門医／指導医
川口笛美	日本医師会	認定産業医
	日本眼科学会	専門医

## 2 クリニカルインディケータ

### ●患者統計



### ●健診受診者統計



※婦人科検診(乳がん・子宮がん検診)  
※その他(人間ドック・扶養者健診・法令健診・予防接種等)

## 3

## 業務実績

## スタッフ(2021.3現在)

医 員：常 勤3名	小澤志朗(所長/内科)、 鳴山文子(内科医長)、 川口笛美(眼科医長)
：非常勤2名	小川小夜(内科)、 石田和之(漢方)
看 護 師：常 勤2名	佐々木優子(師長)、 今中智湖
：非常勤2名	永森優子、南波ゆかり
放射線技師：非常勤2名	花村晴美、佐伯華淑
機能訓練士：非常勤1名	吉田栄子
事 務：常 勤3名	鍵小野 宏(事務長)、 吉井百合(係長)、 山田奈緒子
：非常勤3名	瀧澤典子、石井恵美、 植松香織

## 活動状況

## 1. 患者数および収支

2020年度の外来総患者数は26,979名(一般外来患者総数20,055名、健診受診者総数6,924名)で前年度より7,390名(21.5%)の大幅な減少となり、総収益は2億3,490万円(一般外来1億820万円、保健予防活動1億390万円、その他2,280万円)で前年度より708万円(2.9%)の減収となった。最大の要因はコロナ禍による受診控えであり、一般診療外来に関しては、患者総数および収益が対前年度比でそれぞれ72.3%、79.5%と減少した。中でも緊急事態宣言下の4~5月は、日曜祝日、初診患者数が前年度の約20%まで落ち込み、4~7月までの累計は約1,800円の赤字(前年度500万円の黒字)となった。8月以降は、健診を主体に受診者数が徐々に回復傾向を示し、また11月からの発熱外来開設や世田谷区新型コロナPCR検査業務委託管理などの増収要因が加わったことから、2020年度収支は、前年度に及ばないものの944万円の黒字(前年度1,540万円の黒字)を確保することができた。

## 2. 産業医としての職務遂行

- 1) 玉川高島屋、東神開発株式会社の産業医としての業務
  - ① 毎月安全衛生委員会に出席(緊急事態宣言期間中は書面)

- ② 玉川高島屋社員約800名、東神開発株式会社社員約200名に対し、ストレスチェックの実施および高ストレス者に対する面接指導(玉川高島屋3名、東神開発株式会社4名)を行った。

- ③ ストレスによるうつ病、適応障害患者、病気療養中患者に対し、職場復帰後の支援を行った。

- ④ 玉川高島屋社員を対象とした健康セミナー講演はコロナ禍のため中止となった。

- ⑤ SARS-CoV-2感染予防対策に関し、玉川高島屋担当者と頻回の話し合いを行った。

- 2) 産業医として、センチュリーアンドカンパニーと新規契約をした。

## 3. 特別養護老人ホーム「ラベ二子玉川」の配属医としての業務

- ① 毎週老人ホーム入居者の回診と処方を行った。

- ② 入居者の病状変化時のアドバイスと医療機関への紹介状作成を行った。

玉川クリニックの現体制では時間外対応ができないこと、また老人ホーム経営者側との運営方針に関し相違点が多いことから、2021年度をもって契約終了を予定している。

## 4. 設備面

- 1) X線撮影装置、内視鏡光源装置を更新した。

- 2) 2019年台風19号水害による天井、床の張替工事を行った(4~5月)。

- 3) 心電図検査室、エコー検査室を旧鍼灸治療室に移転した。

## 5. 人事面

石田和之医師の後任として鳴山文子医師(消化器内科)が常勤医として就任した(4月)。

## 今後の目標

- 1) 小澤志朗所長が退任し、後任として玉川病院より長 晃平医師が就任予定(6月)。
- 2) コロナ禍収束の目途が立つまで発熱外来を継続する。
- 3) 消化器内視鏡検査件数の増加など消化器外来の充実化をはかる。
- 4) 一般外来受付と健診科外来受付の分離。
- 5) 玉川クリニックにおけるポストコロナに向けた展開の検討。